

NEWS RELEASE

報道関係者 各位

2025 年 7 月 7 日
国立大学法人 東京農工大学

小金井動物救急医療センターで放射線診療科を開始

東京農工大学小金井動物救急医療センターが 2025 年 8 月 4 日（月）より放射線診療科を開始いたします。

開始に先立ちまして、以下のとおり報道関係者向け内覧会を行いますので、ご案内いたします。

内覧会日時 : 2025 年 7 月 28 日（月）13:00～13:30
※受付開始は 12:30 からとなります
※13:00～13:30 の間でセンター内をご自由に撮影いただけます
開催場所 : 東京農工大学小金井動物救急医療センター
※末尾の地図をご参照ください

【より高精度な治療が可能となる放射線治療機器を設置】

- ・放射線治療科は、2024 年 8 月 4 日より診療を開始する予定です。
- ・当科では、X 線 10MV および電子線 15MeV までの放射線治療が可能なりニアック「Elekta Versa HD」を導入しています。
- ・国内の獣医療施設では初となる「CT on Rail System（CT 同室設置型放射線治療システム）」（図 1）を備えており、高画質の画像を用いた画像誘導放射線治療（IGRT）が可能のため、より正確な照射ができます。さらに、全身麻酔が必要な動物患者においても、計画 CT 撮影時の動線をスムーズに確保しています。
- ・治療計画には最新バージョンの「Elekta MONACO」を使用し、その補助として「MIM Maestro®」を活用できます。画像誘導装置として、CBCT（Elekta XVI）および同室 CT（Canon Aquilion LB）により、精度の高い治療を実現します。また、治療部位の再現性を高めるため、六軸天板（Elekta HexaPod）を搭載しており、縦・横・斜め方向の位置ずれを補正することが可能です。さらに、将来的にはオンライン ART（適応放射線治療）による治療にも対応予定です。
- ・診療放射線技師のサポートのもと、人間の医療水準と同等の機器精度管理および治療検証を行い、より高精度な放射線治療を提供します。これにより、動物特有の小照射野でより効果的な治療が可能となり、重要臓器への影響を最小限に抑え、副作用の軽減が期待できます。
- ・二次診療機関では対応が難しいことの多い土日祝日を含め、放射線治療を実施します。

【小金井動物救急医療センターの概要・特長】

- ・本学では小金井キャンパスに「小金井動物救急医療センター」を設置し、全国の大学で初めて1つの大学に2つの動物病院を有する体制を構築しました。
- ・小金井動物救急医療センターには、「総合診療科（専門分野に特化しない幅広い診療を行う部門）」と「放射線治療科」の2つの診療科を設置しており、高度な診療を可能にするため、超音波診断装置、X線撮影装置、CT装置、MRI装置などを導入し、より多様な症例に対応できる体制を整えています。
- ・本学の動物病院は、かかりつけ病院（一次診療機関）からの紹介を受けて診療を行う「二次診療機関」として機能しており、府中キャンパスにある「動物医療センター」では専門的な医療を、「小金井動物救急医療センター」では総合診療および放射線治療を担います。これら2つのセンターが役割を分担し、相互に連携することで、多様化・高度化する獣医療ニーズに的確に対応しています（図2）。



図1：放射線治療機器および小金井動物救急医療センターロゴ

地域の獣医療の更なるバックアップ

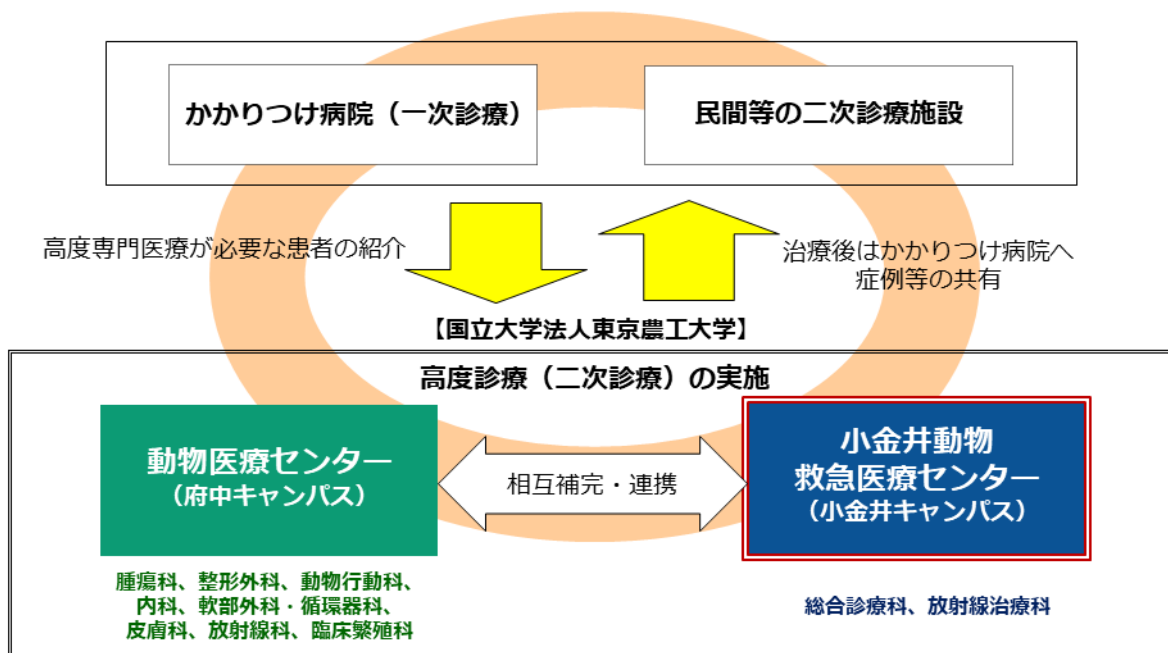


図2：二次診療施設としての体制強化

◆本件に関する問い合わせ・取材申込み先◆

国立大学法人東京農工大学経営部財務課小金井病院係 山崎・飯塚

TEL : 042-388-7016

E-mail : k-byoin@m2.tuat.ac.jp

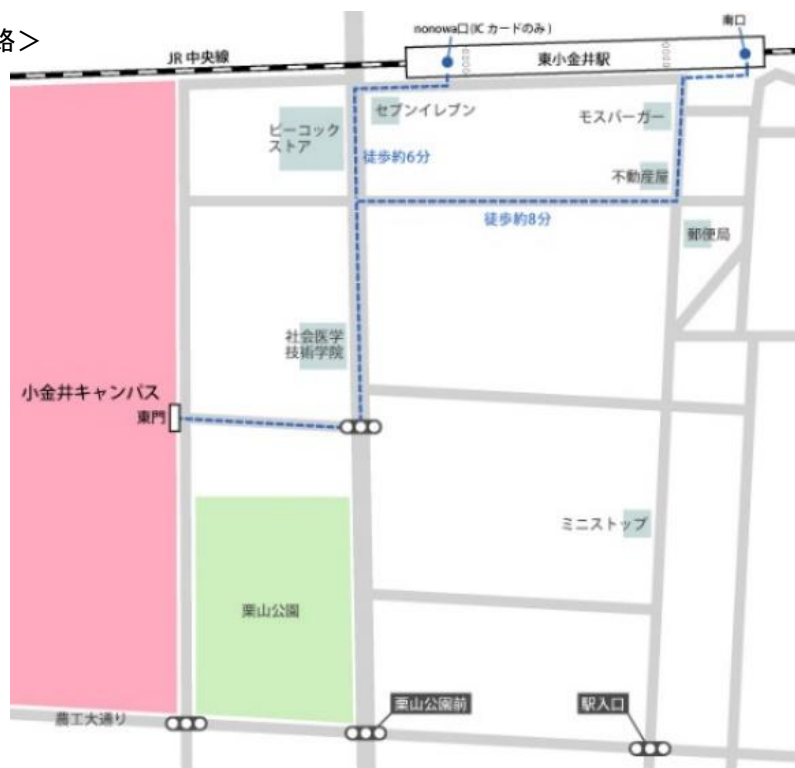
k-byoin03@m2.tuat.ac.jp

※ご連絡の際は両方のアドレス宛にお送りください。

【アクセス（東京農工大学小金井動物救急医療センター）】

- ・ JR 中央線「東小金井駅」下車、南口から徒歩約 20 分、nonowa 口から徒歩約 17 分
- ・ キャンパス東門を真っすぐ進んでいただき、西門をでて南に進んでください。南西角の建物になります。
- ・ 駐車場に限りがあるため、できるだけ公共交通機関でお越しください。

＜東小金井駅から東門までの経路＞



＜小金井キャンパスマップ＞

